

福岡県医発第1939号(地)

平成19年 2月 2日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義 武



支払基金における「レセプト電算システム状況調査」の実施について

社会保険診療報酬支払基金より日本医師会に対し、全国の病院に対して「レセプト電算システム状況調査」(アンケート調査)を実施することについて協力依頼があった旨、別紙のとおり連絡がありました。

本調査の目的は、①各病院の施設状況、②レセプト電算処理システムの実施状況、③現在使用中のシステム状況、④試行的オンラインの予定年月等の情報を集約することで、支払基金が行う確認試験等の受入準備およびレセコンメーカーの対応準備等に資するためのものです。

また、各病院が使用しているレセプトコンピュータが保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)加盟メーカーのものである場合、アンケート情報(提供情報一覧表に示す情報)はそのメーカーに個別にも提供されることとなっています。

日本医師会では、現時点で試行的オンライン請求のみ認めています。また、オンライン請求に関しては、日本医師会において厚生労働省と鋭意交渉されているところですが、前提条件として5項目の検討課題(①薬効薬理作用に基づいた医薬品の投与を認めること(デジタルによる画一的な審査をしないこと)、②被保険者証有効性確認システムの確立、③レセコンの統一基準化、④レセプトデータ利用活用に関する問題(民間利用の禁止)、⑤IT化財源の別途確保)を掲げ、その解消を求めている状況であります。

したがって、日本医師会では、今回の「レセプト電算システム状況調査」につきましても、利用目的等を鑑み、各病院のご判断でご回答いただきたいとのことです。貴会におかれましても会員よりお問合せ等ありましたらご対応の程よろしくお願いいたします。

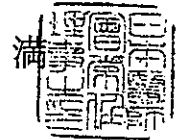
平成19年1月24日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

鈴木



支払基金における「レセプト電算システム状況調査」の実施について

社会保険診療報酬支払基金において、全国の病院に対して「レセプト電算システム状況調査」(アンケート調査)を実施したい旨、協力方依頼がありましたので、ご連絡申し上げます。

本調査の目的は、①各病院の施設状況、②レセプト電算処理システムの実施状況、③現在使用中のシステム状況、④試行的オンラインの予定年月等の情報を集約することで、支払基金が行う確認試験等の受入準備およびレセコンメーカーの対応準備等に資するためのものです。

また、各病院が使用しているレセプトコンピュータが保健医療福祉情報システム工業会(JAHIS)加盟メーカーのものである場合、アンケート情報(提供情報一覧表に示す情報)はそのメーカーに個別にも提供されることとなっております。

日本医師会は、現時点で試行的オンライン請求のみを認めております。また、オンライン請求に関しては、厚生労働省と鋭意交渉しているところではありますが、前提条件として5項目の検討課題(①薬効薬理作用に基づいた医薬品の投与を認めること(デジタルによる画一的な審査をしないこと)、②被保険者証有効性確認システムの確立、③レセコンの統一基準化、④レセプトデータ利活用に関する問題(民間利用の禁止)、⑤IT化財源の別途確保)を掲げ、その解消を求めている状況であります。

したがって、今回の「レセプト電算システム状況調査」につきましては、利用目的等を鑑み、各病院のご判断でご回答いただきますよう、ご対応の程よろしくお願いいたします。



(別添資料)

1. 支払基金からの日医宛依頼文書

2. 医療機関(病院)宛依頼文書

(別紙) レセプト電算処理システム状況調査票

(別添) 提供情報一覧表

(参考) 国のオンラインスケジュール

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、支払基金業務の運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、医療事務分野のIT化の流れの中、支払基金では、貴会をはじめ関係者の理解を得ながら、数年前からレセプト電算処理システムの普及促進に努めているところです。

支払基金では、このレセプト電算処理システム及び試行的オンライン請求を希望する病院の移行を円滑に行うため、また、支払基金における確認試験等の受入準備を計画的に行うため、全国の病院におけるレセプトコンピュータ及びレセプト電算処理システムの状況を把握するためにアンケート調査を行うことといたしました。

アンケート調査の内容は、別添の「医療機関（病院）の皆様へ」により、現在使用しているソフトメーカー等について回答を依頼するものでありますが、円滑に医療機関（病院）のご協力をいただくため、本アンケート調査を行うことについて、貴会からも関係医師会に対してご協力をいただけるよう、格別のご協力をよろしくお願い申し上げます。

敬具

平成19年1月24日

社会保険診療報酬支払基金

理事長 中西明典

社団法人 日本医師会

会長 唐澤祥人 殿

医療機関（病院）の皆様へ

●●●社会保険診療報酬支払基金

平素は支払基金の業務運営にご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

支払基金においては、医療事務分野のIT化の流れの中、レセプト電算処理システムの導入・試行的オンライン請求を希望される病院様に対して、これらの導入時期等を把握し、円滑な移行に向けて必要な支援を行いたいと考えております。

つきましては、支払基金において、各病院様で現在使用中のレセプトコンピュータ及びレセプト電算処理システムの状況を保健医療福祉情報システム工業会（以下「JAHIS」という。）と連携して確認するとともに、確認試験等の受け入れ準備を計画的に進めることを目的にアンケートを実施したいと考えております。趣旨にご賛同いただける場合は、別紙アンケートにご記入のうえ、平成19年2月のレセプト提出時又は平成19年2月16日（金）までにFAX（〇〇〇ー〇〇〇〇）でご提出いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、このアンケート情報につきましては、支払基金において上記目的で利用すると共に、アンケートでご回答いただいた内容を集約後、別添「提供情報一覧表」に示した情報を、JAHIS加盟メーカーに個別に提供いたします。これは、加盟メーカーにおいて各病院様におけるレセプト電算処理システムの状況把握に資することを目的としており、これ以外の目的で使用することは一切ございませんので、何卒ご理解とご協力お願い申し上げます。

おって、本アンケート回答においてご不明な点がございましたら、貴病院所在の基金支部あてご照会をお願いいたします。

レセプト電算システム状況調査

医療機関コード	
医療機関名	

アンケート項目		記入欄		
医療機関の状況	総病床数区分	① 400床以上	② 400床未満 200床以上	③ 200床未満
	DPCの有無	有		無
	連絡先(担当者様・電話番号)	Tel () - -		
レセ電状況	レセ電実施有無	有		無
	レセ電DPC実施有無	有		無
	レセ電実施スケジュール (未実施の場合のみ記入)	レセ電での本請求を 年 月頃と予定している		
現在使用中のシステム状況	販売会社(ディーラー)			
	ソフトメーカー名 (レセコン又はレセ電メーカー)			
	ソフト名 (レセコン又はレセ電ソフト)			
備考	試行的オンライン予定	年 月頃予定		

(参考) ※レセコン(医療事務レセプトコンピュータ):レセプト作成業務を電算化したうえで、紙に出力(紙レセプト)し、請求を行うためのコンピュータ。

※レセ電(レセプト電算処理システム):診療報酬の請求を紙レセプトに代えて、光ディスク等の電子媒体に収録したレセプト(電子レセプト)で提出を行うもの。

提供情報一覧表

	JAHIS加盟メーカーに提供する情報
① 医療機関コード	×
② 医療機関名	○
③ 総病床数区分	○
④ DPCの有無	○
⑤ 連絡先	×
⑥ レセ電実施有無	×
⑦ レセ電DPC実施有無	×
⑧ レセ電実施スケジュール	○
⑨ 販売会社(ディーラー)	○
⑩ ソフトメーカー名	○
⑪ ソフト名	○
⑫ 試行的オンライン予定	○

(注) JAHIS加盟メーカー以外の医療機関情報は、JAHISには提供されません。

(参考) 国のオンラインスケジュール

→ :紙、電子媒体又はオンラインによる請求
(オンラインについては、平成18・19年度は個別指定)
⇨ :()内の日付以降、オンラインによる請求に限定

【 医 科 】		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度～
病院①	400床以上+レセ電有						
	400床以上+文字対応			⇨ (20. 4. 1)			
病院②	400床未満+レセ電有						
	400床未満+文字対応			⇨ (21. 4. 1)			
病院③	レセコン有						
	+レセ電無 +文字非対応				⇨ (22. 4. 1)		
病院④	レセコン無						
	(⑤を除く)					⇨ (23. 4. 1)	
病院⑤	レセコン無						
	+少数該当+既設						⇨ (23.4.1から2年の範囲内で別に定める日)

【 医 科 】		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度～
診療所①	レセコン有						
					⇨ (22. 4. 1)		
診療所②	レセコン無						
	(③を除く)					⇨ (23. 4. 1)	
診療所③	レセコン無						
	+少数該当+既設						⇨ (23.4.1から2年の範囲内で別に定める日)

【 歯 科 】		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
病院・診療所①	レセコン有						
						⇨ (23. 4. 1)	
病院・診療所②	レセコン無						
	(③を除く)					⇨ (23. 4. 1)	
病院・診療所③	レセコン無						
	+少数該当+既設						⇨ (23.4.1から2年の範囲内で別に定める日)

【 調 剤 】		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度～
薬局①	レセコン有						
				⇨ (21. 4. 1)			
薬局②	レセコン無						
	(③を除く)					⇨ (23. 4. 1)	
薬局③	レセコン無						
	+少数該当+既設						⇨ (23.4.1から2年の範囲内で別に定める日)

注1.「レセ電有」とは、レセプトコンピュータでレセプト電子請求を行っている場合をいう。

注2.「文字対応」とは、レセプトコンピュータにレセプト文字データ変換ソフトの適用が可能である場合をいう。

注3.「レセコン有」とはレセプト作成業務を電算化している場合をいう。

注4.「少数該当」とは、月間平均請求件数が医科・調剤で100件以下、歯科で50件以下の場合をいう。

注5.「既設」とは、平成21年4月1日時点において現存している機関をいう。